



せんだん

【学校教育目標】自ら気づき、考え、判断し、
主体的に行動する児童の育成

第4号 令和8年6月17日 校長 松尾 信広

☞ 水の事故から子ども達を守りましょう！

報道等でご存じのことと思いますが、一昨日、唐津市相知町の厳木川において、河川で遊んでいた中学生が溺れて亡くなるという、極めて痛ましく悲しい事故が起きました。このようなことが二度と繰り返されないよう、私たち大人も今一度、**水難事故に対する防災意識**を高めながら子ども達を見守ることが必要だと感じます。

今朝は児童集会で、保健委員会からの発表がありました。練習を重ねて、歯の大切さや正しい磨き方などを全校の前で立派に発表することができました。保健委員さんの話す姿や、それを聴いている子ども達の様子を見ていると大きな成長を感じます。その発表が終わった後、教頭の方から、今回の事故を受けて次のような話をしました。

- ① 「禁止」と書いてある場所は「危険」だということ。絶対に近づいてはいけない。たとえ書いていなくても、川・ため池・用水路・海等は危険な場所である。
- ② 一見穏やかに流れているように見えても、実は流れが速かったり、急に深くなったりする場合があります、常に危険である。
- ③ 保護者などが見ていないところで川・海などに入ることや、飛び込み・飛び降りなどの危ない行動は絶対にしないこと。
- ④ 溺れている人を見つけた場合は、絶対に自分から水に入って助けようとしなないこと。自分も溺れてしまう。その場合は、大声で大人を呼ぶ。電話ができるようであれば、119番（消防）や118番（海上保安庁）に通報する。

また、二里小育友会から毎夏配付していただいている「二里小学校みんなで子育て／夏休み ver.」では、川遊びについてこう書いていただいています。

○川遊びについて

- ・有田川やその河川敷では、子どもだけでは遊ばせないようにしましょう。
- ・近くの川で遊ぶときも、保護者が確認をしてから遊ばせましょう。
- ・魚釣りについても、川遊びと同じ約束で行わせましょう。

二里小学校校区の特徴のひとつに、**有田川**が通っていることが挙げられます。黒髪山系を水源とし、豊かな水の恵みを与えてくれる、生活や歴史に深く結びついた川です。また、有田川に流れ込む支流や用水路等も校区内に多く存在します。この**ふるさとの豊かな水**を愛しつつ、一方では**水の危険性も学んでいく**ことが大切だと思います。学校でも折に触れて指導してまいりますので、ご家庭でも上記のような点に触れながらご指導ください。よろしくお願いたします。

☞ 伊万里市ホームページで備えのための情報収集を！

水難事故に限らず、災害全般に対して、私たちは「いざというとき」のために**備えておく**ことが必要です。伊万里市のホームページから、**暮らしの便利帳「災害・緊急」**をクリックしますと、原子力災害・集中豪雨・台風・地震などの**災害時に役立つ情報**や、避難所・危険箇所等の情報が載っている**防災マップ**などを見ることができます。原子力防災につきましては、有事の際にどの市町が受け入れてくれるのかも知ることができます。**二里町の避難先は嬉野市**なのですが、地区別に避難する施設が異なります。事前にこれらの情報をご家族で共有し、備えてみられてはいかがでしょうか。私もそうします。